



この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
令和2年度学校だよりNo.7
令和2年9月15日
文責 校長 吉尾直樹

「人に学ぶ、人と学ぶ」3日間

9月8～10日 2年職場体験学習 1年ボランティア体験学習

2年生はキャリア教育の一環として職場体験学習を平戸で行いました。学習場所は、平戸市役所、平戸図書館、保育園、パン屋さんです。この学習は、その職業にかかわる方と一緒に場所で働くことを体験させていただき、仕事への思いや職業の喜びや大変さを学び、自らの将来に向けて考える機会とすることをねらいとしています。

保育所で園児とかかわることは楽しいですが、そのためにたくさんの準備をしたり、一人ひとりのようすを把握したりするのはとても



大変です。また、市役所ではさまざまな課の仕事を教えていただき、その多岐にわたる内容に驚きました。台風直後ということもあり、多くの文化財に被害がある中でその状況の把握に取り組んでいる姿が印象的でした。また、パン屋さんでは障害を持たれている方も一緒に働いていて、とても上手にパンを作っていました。図書館では、読

み聞かせにも挑戦しました。このように何となく身近にある職業でも、いざ、その立場に立って働くとたくさんのことを学ぶことができました。このコロナウイルスのリスクもある中で受け入れてくださった事業所の皆様に深く感謝申し上げます。

1年生はボランティア体験学習として、ポッチャの体験、手話学習、神浦のまちなみや白浜海岸の清掃活動に取り組みました。

ポッチャはヨーロッパで障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当たったりして、いかに近づけるかを競います。実際に



やってみると簡単にはできず、とても面白かったです。手話は手話サークルの方2名を講師としてお招きし、あいさつや自分の名前などを覚えめました。また、手話での歌も練習しましたので、学習発表会で披露したいと思います。さらに、台風直後ということもあり、大島のあちらこちらにごみがたくさんありました。そこで神浦や白浜の清掃にも取り組みました。同じ地域の一員として自分たちができることを取り組んでいく、それがボランティアだと思います。



親子で一緒に汗を流しました 9月4日 PTA親子除草作業

2学期の始まりに合わせてPTA親子除草を行いました。多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。今年は長雨と夏の日差しで草が多かったのですが、校内がすっきりとなり、子どもたちの学習にも力を入れることができます。

